

売買算（その1）

【用語説明】

・原価（げんか） = 仕入れ値（しいれね）

お店が商品を手に入れるための金額

・利益

商品を売ったときにもうかる金額

・定価

原価+利益（お店が一番最初に売りたいと思った値段）

・割り増し

割（1割とか2割の「割」）が増えること

・割り引き

割りが減ること

・売値（うりね） = 販売価格

お店がお客様に実際に売る値段（定価から値引きされたり、値上げされたりと問題文を良く読まないと分かりにくいです）

・料金

支払うお金のこと。（色々な状況で使われるでこちらも売値と同じで、問題文を良く読まないと分かりにくいです。）

・売上（うりあげ）

売れた値段や売れた個数の合計

・差額

「定価-原価」の場合は利益のこと。「定価と割引後の差額」の場合は割引された金額のこと。つまり差額は何かと何かの金額の違いを表す表現で、問題文を良く読まないと何を指しているか分かりにくいので、注意が必要な言葉です。

・2割り引き = 20% off

（注）「2割り増し」は20% onとは表現しません。

（次のページに続く）

- ・消費税（しょうひぜい）

一番最後に買った人（主に消費者＝お客様）が払う税金。現在の日本では10%となってています。

100円の物を買えば10%の消費税がかかって、お客様の支払い額は100円の10%である10円がプラスされて、110円になる。